

『川崎町の町政に関する意識調査』
～『第6次川崎町総合計画』及び『第2次川崎町総合戦略』策定
に向けたアンケート調査～

集計結果報告書

令和元年 10 月

I 調査概要

1. 調査目的

令和2年度から始まる『第6次川崎町総合計画』及び『第2次川崎町総合戦略』を策定するため、町民に町政に対する考え方や意見を聞き、今後のまちづくりの方向性や諸課題への対応を検討する上での基礎資料とする。

2. 調査対象及び調査方法等

調査対象	20歳以上の町内居住者を対象とし、無作為に抽出
調査数	2,800人（1回目：1,800通、2回目：1,000通）
調査方法	郵送により配布、郵送回収
調査時期	1回目：令和元年8月9日（金）～8月27日（火）：19日間 2回目：令和元年10月1日（火）～10月16日（水）：16日間

3. 回収状況

有効配布数	2,800通
有効回収数	458通
有効回収率	16.4%

4. 留意事項

表・グラフ中の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しており、そのため、各選択肢の構成比の合計が100%にならない場合がある。

2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。

図表中の「N」あるいは「n」は、比率算出上の基数（標本数）を表す記号である。「N」は全標本数ベース、「n」は該当数ベースを示している。

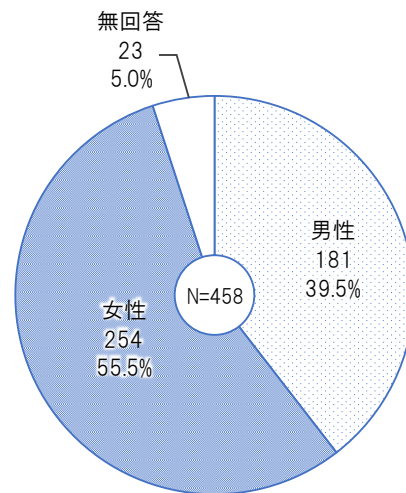
クロス集計における各設問の表の回答割合に関して、表中の **太字** は1番多い項目、**太字** は2番目に多い項目、**太字** は3番目に多い項目を示している。

II 集計結果

1. あなた自身について

あなたの性別をお教えてください。

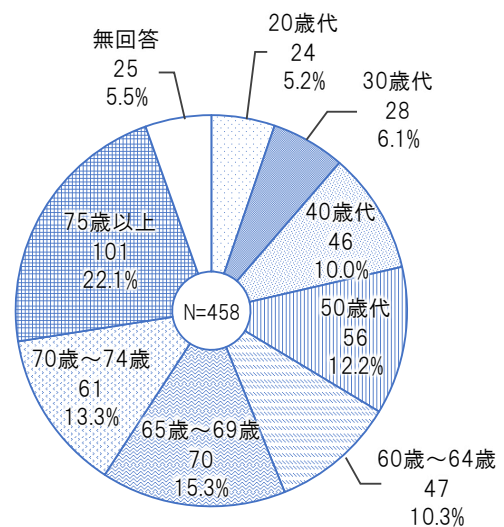
「男性」が 39.5%、「女性」が 55.5%となっている。



あなたの年齢をお教えてください。

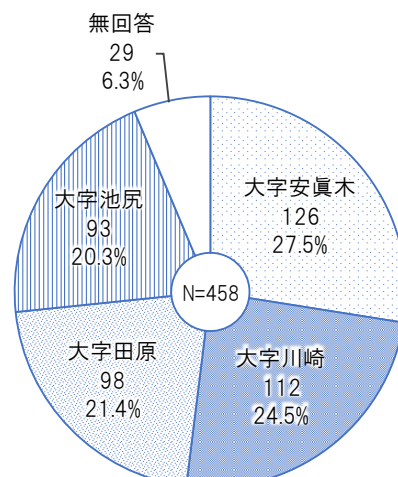
「75 歳以上」が 22.1%で最も多い。次いで「65 歳～69 歳 (15.3%)」「70 歳～74 歳 (13.3%)」となっている。

20 歳代～50 歳代の回答者は、全体の 33.5% (3 分の 1 程度) となっており、60 歳代以上の回答が多くなっている。



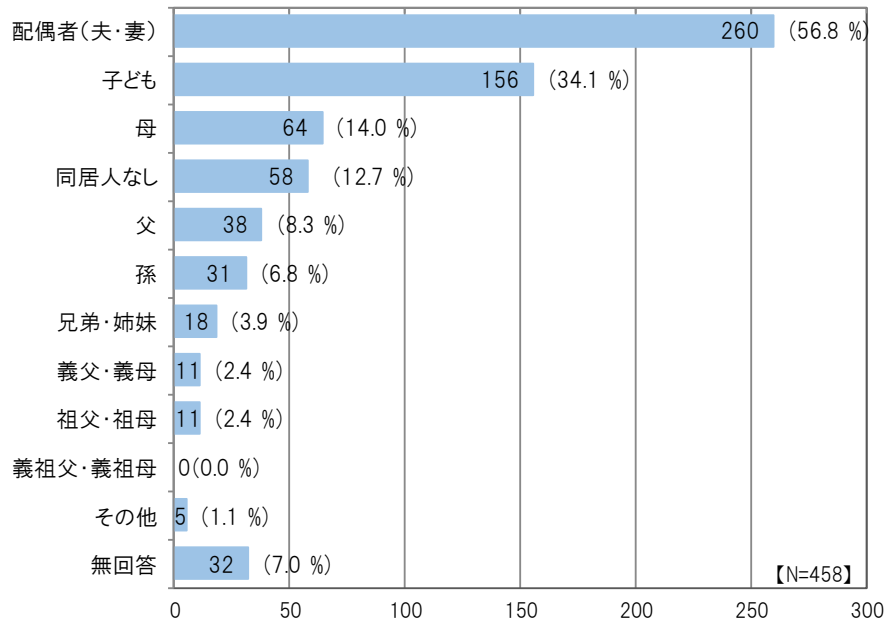
あなたのお住まいの地域をお教えてください。

「大字安真木」が 27.5%で最も多い。次いで「大字川崎 (24.5%)」となっている。



あなたが同居している家族をお教えてください。あなたからみた続柄でお答えください。（複数回答）

「配偶者（夫・妻）」が56.8%で最も多い。次いで「子ども（34.1%）」となっている。

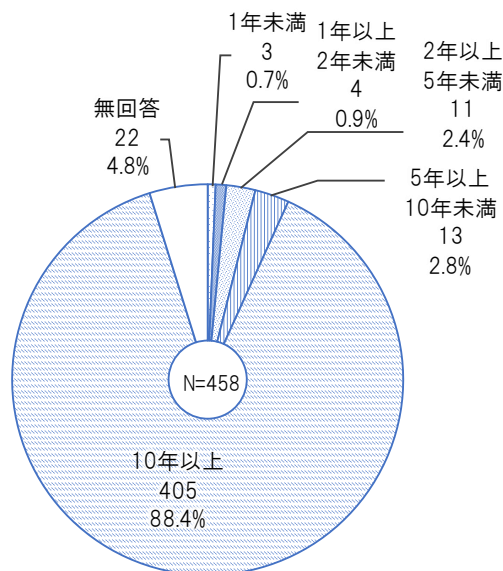


その他の意見

父の姉
同居人1人

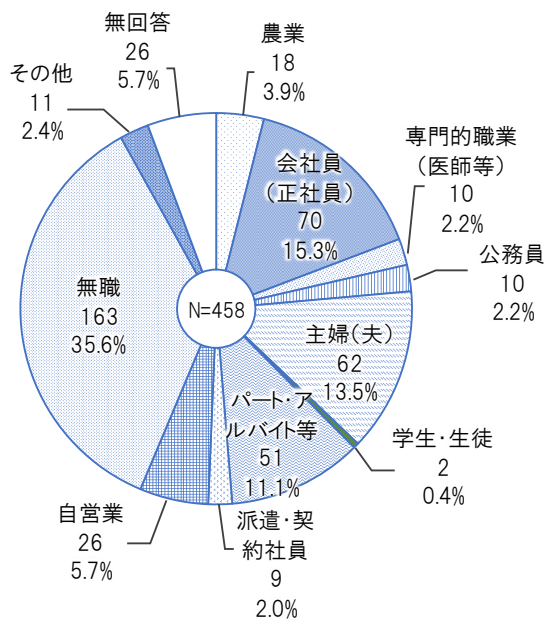
あなたは川崎町にお住まいになって何年になりますか。

「10年以上」が88.4%で最も多い。



あなたの職業をお教えてください。

「無職」が35.6%で最も多い。次いで「会社員（正社員）（15.3%）、主婦（夫）（13.5%）」となっている。



その他の意見	件数
介護士	2
団体職員	1
保育士	1

2. まちの現状に関する認識や評価について

-凡例-

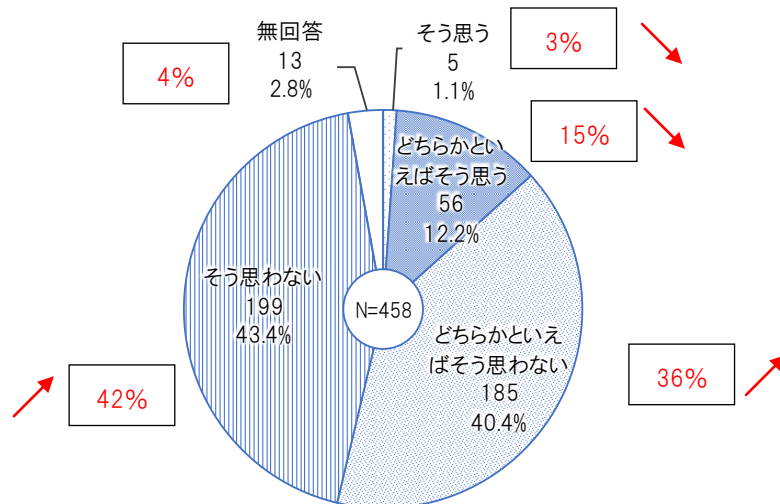
% 前回計画時の%

↘ ↗ 前回計画時からの増減

増減の色 赤:悪化 青:改善 黄色:変化なし

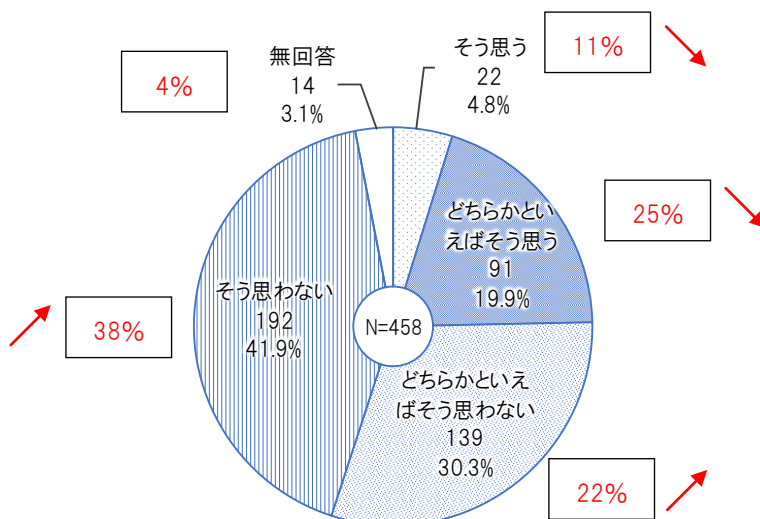
1 あなたは、川崎町は活気があるまちだと思いますか。

「そう思わない」が43.4%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない（40.4%）」となっている。



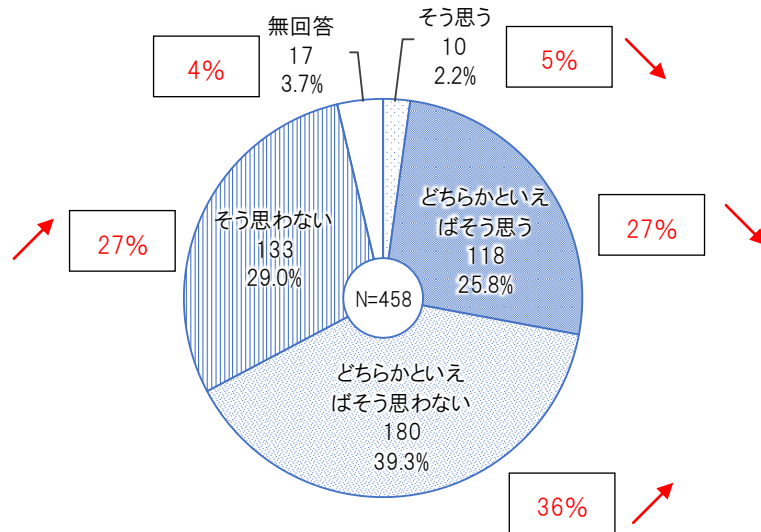
2 あなたは、川崎町は便利なまち（交通、買い物の便がよいなど）だと思いますか。

「そう思わない」が41.9%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない（30.3%）」となっている。



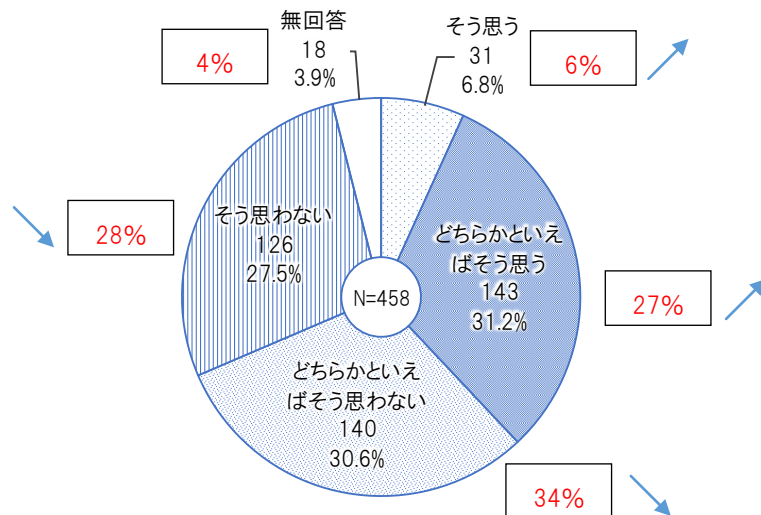
3 あなたは、川崎町はふれあいや連帯感があるまちだと思いますか。

「どちらかといえばそう思わない」が39.3%で最も多い。次いで、「そう思わない(29.0%)」となっている。



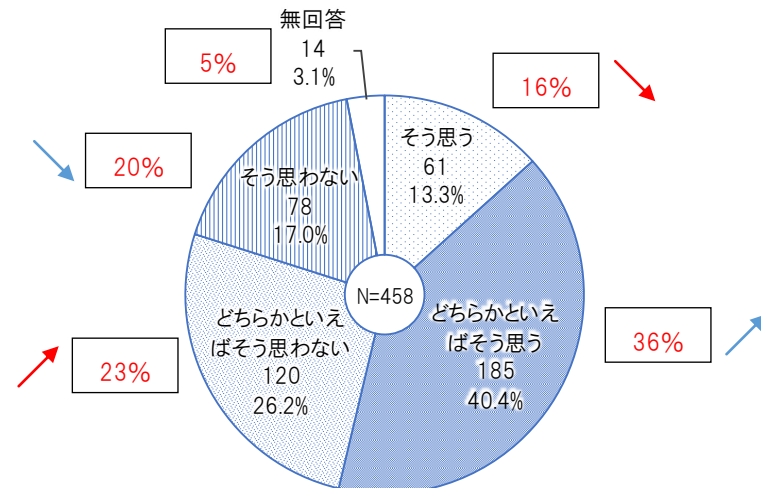
4 あなたは、川崎町はよその人も受け入れる開かれたまちだと思いますか。

「どちらかといえばそう思う」が31.2%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(30.6%)」となっている。



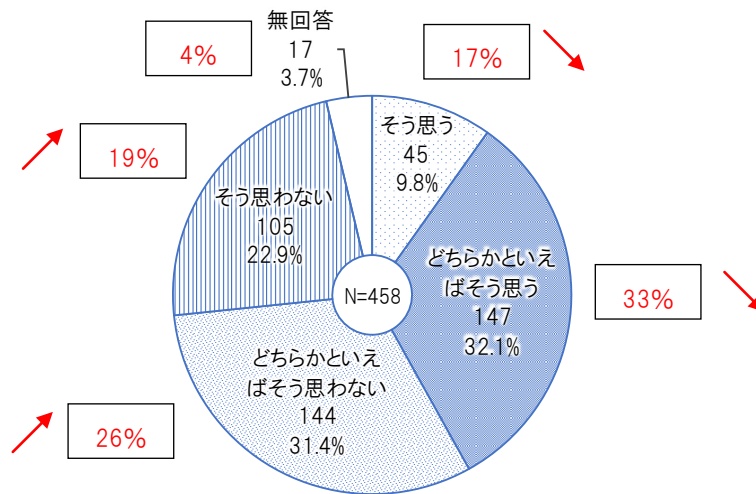
5 あなたは、川崎町は安全に暮らせるまち（災害、事件、事故が少ないなど）だと思いますか。

「どちらかといえばそう思う」が40.4%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(26.2%)」となっている。



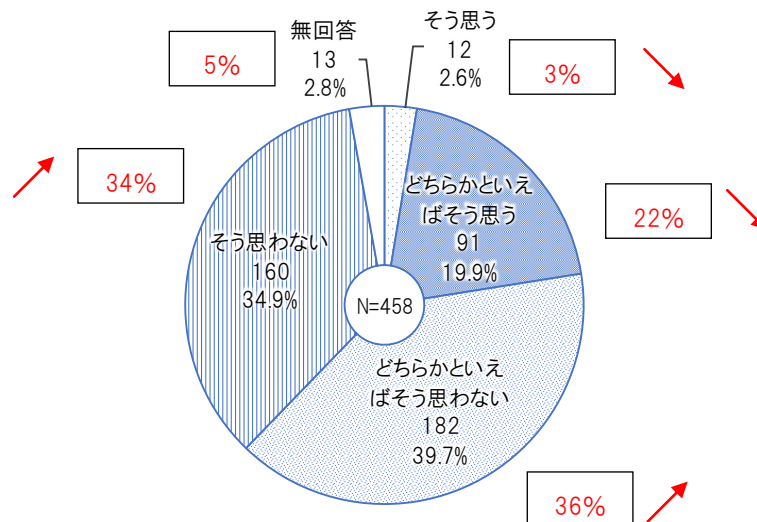
6 あなたは、川崎町は安心して医療が受けられるまちだと思いますか。

「どちらかといえばそう思う」が32.1%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(31.4%)」となっている。



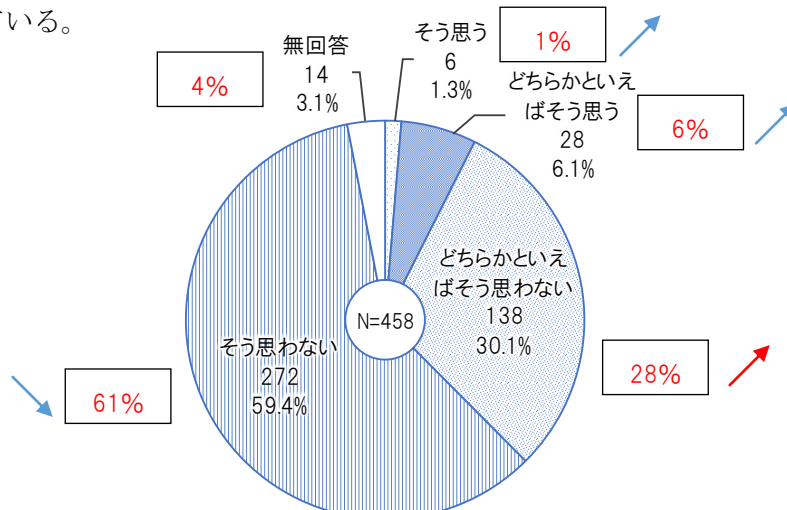
7 あなたは、川崎町は美しい街（景観や街並み、ごみが散乱していないなど）だと思いますか。

「どちらかといえばそう思わない」が39.7%で最も多い。次いで、「そう思わない(34.9%)」となっている。



8 あなたは、川崎町は若い人が都会から戻って暮らせるまちだと思いますか。

「そう思わない」が59.4%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(30.1%)」となっている。



・前回計画時より「よその人も受け入れる開かれたまち」については、好意的な評価が増加している。
・その他の項目については、好意的な評価は減少または微減している。

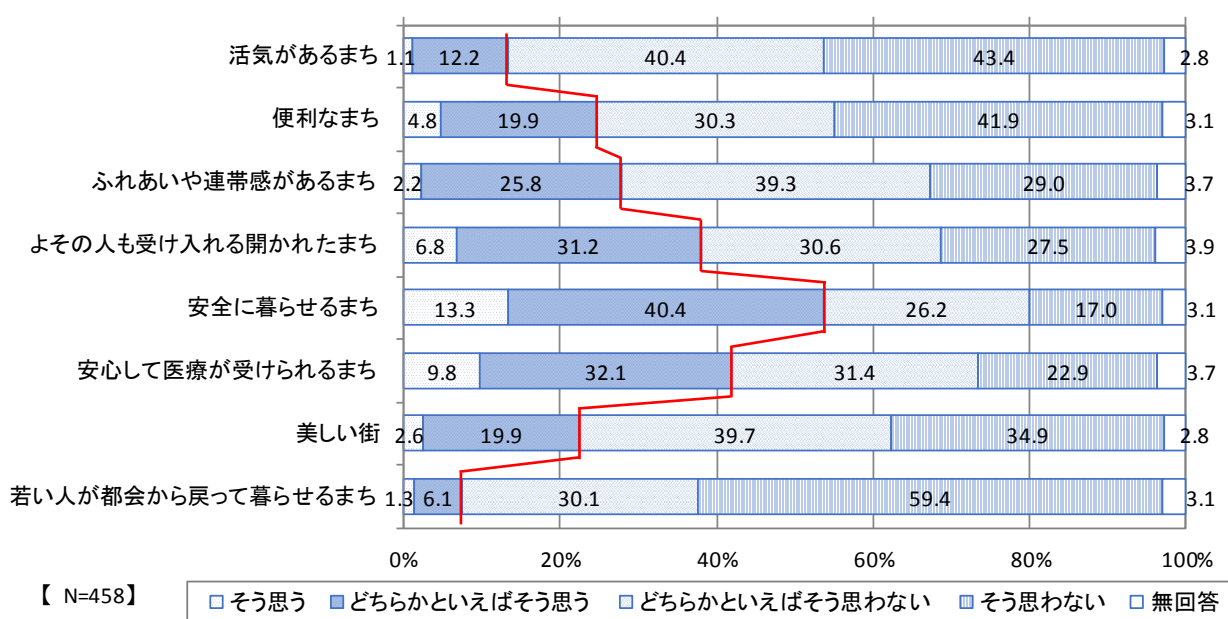
【1～8】まとめ

まちの現状に対する認識や評価が高いのは、「安全に暮らせるまち」で、半数を超える人が高く評価している。次に「安心して医療が受けられるまち」も4割を超える人が高く評価している。

まちの現状に対する認識や評価が低いのは、「若い人が都会から戻って暮らせるまち」「活気があるまち」で9割近くの人が低く評価している。

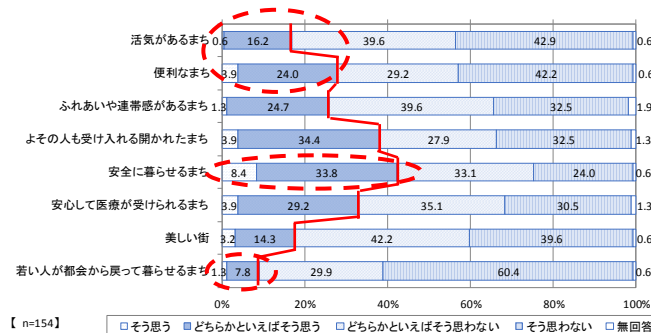
年代別でみると、「便利なまち」について、50歳代以下は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を加えると3割近くの人がそう思うと回答しているが、60歳代以上は2割を超える人がそう思うと回答している。

「安全に暮らせるまち」について、50歳代以下は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を加えると4割を超える人がそう思うと回答しているが、60歳代以上は6割を超える人がそう思うと回答している。

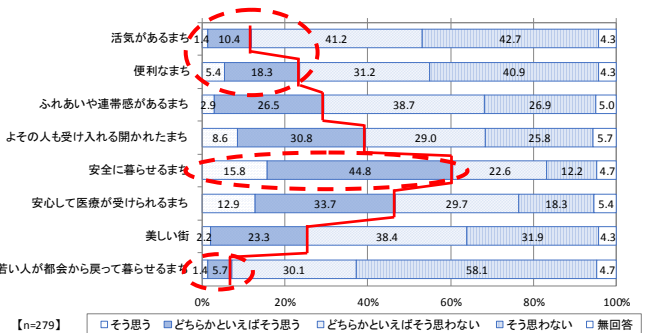


- ・町に対する評価は全体的に低め。
- ・好意的な評価が半数を超えているのは、「安全に暮らせるまち」のみ。

■ 20～50 歳代



■ 60 歳以上



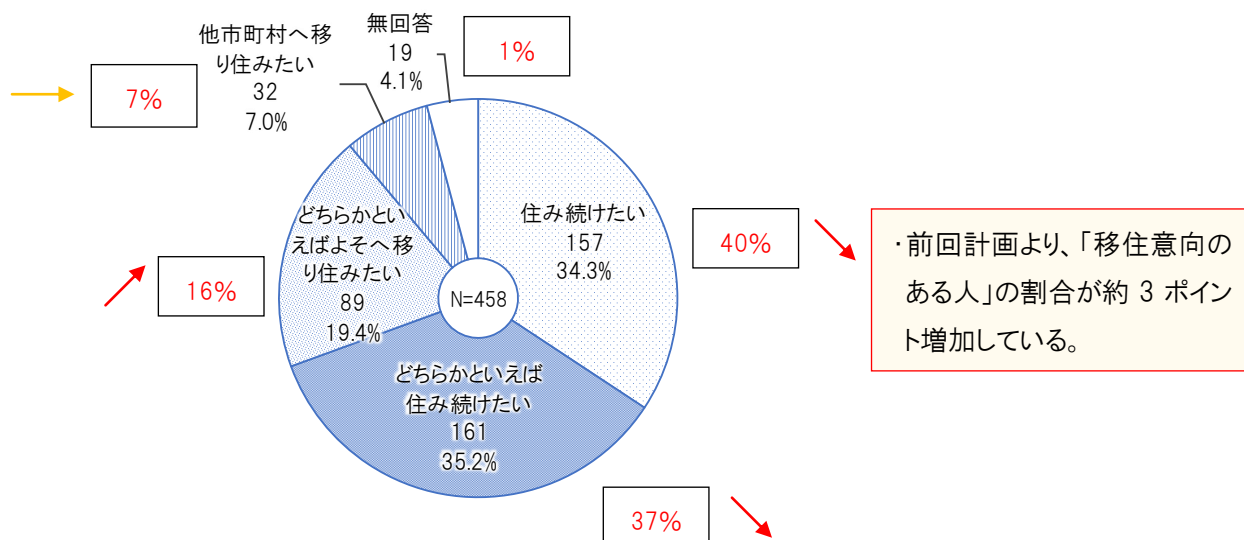
- ・「活気があるまち」「便利なまち」「若い人が都会から戻って暮らせるまち」と感じている割合は、60歳代以上より20歳代～50歳代の方が若干高い。
- ・「安全に暮らせるまち」であると感じているのは、60歳代以上の割合が特に多い。

3. 定住意欲、町への愛着度、町の理解度について

9 あなたは、川崎町に住み続けたいと思いますか。また、その理由をお教えてください。

「どちらかといえば住み続けたい」が35.2%で最も多い。次いで、「住み続けたい（34.3%）」となっている。

年齢別でみると、70歳以上は、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を加えると「住み続けたい」と回答した人が8割いるが、30歳代は、「他へ移り住みたい」と回答した人が5割を超えている。



■各属性のクロス集計結果

数値： 上段：件数 下段：%		サンプル数	住み続けたい	どちらか といえ ば住 みたい	そ ど ち ら か と い え ば 住 みたい	他 市 町 村 へ 移 り 住 みたい	無 回 答
全体		458	157	161	89	32	19
		100.0 %	34.3 %	35.2 %	19.4 %	7.0 %	4.1 %
性別	男性	181	70	62	31	9	9
		100.0 %	38.7 %	34.3 %	17.1 %	5.0 %	5.0 %
性別	女性	254	75	96	54	20	9
		100.0 %	29.5 %	37.8 %	21.3 %	7.9 %	3.5 %
年齢別	20歳代	24	2	10	7	4	1
		100.0 %	8.3 %	41.7 %	29.2 %	16.7 %	4.2 %
	30歳代	28	2	10	11	4	1
		100.0 %	7.1 %	35.7 %	39.3 %	14.3 %	3.6 %
	40歳代	46	11	18	14	3	0
		100.0 %	23.9 %	39.1 %	30.4 %	6.5 %	0.0 %
	50歳代	56	15	20	15	5	1
		100.0 %	26.8 %	35.7 %	26.8 %	8.9 %	0.0 %
年齢別	60歳～64歳	47	14	20	10	2	1
		100.0 %	29.8 %	42.6 %	21.3 %	0.0 %	2.1 %
	65歳～69歳	70	23	26	15	2	4
		100.0 %	32.9 %	37.1 %	21.4 %	2.9 %	5.7 %
年齢別	70歳～74歳	61	26	23	7	3	2
		100.0 %	42.6 %	37.7 %	11.5 %	4.9 %	0.0 %
年齢別	75歳以上	101	52	28	7	6	8
		100.0 %	51.5 %	27.7 %	6.9 %	5.9 %	7.9 %
地域別	大字安真木	126	49	38	29	5	5
		100.0 %	38.9 %	30.2 %	23.0 %	4.0 %	4.0 %
	大字川崎	112	33	43	23	10	3
		100.0 %	29.5 %	38.4 %	20.5 %	8.9 %	0.0 %
地域別	大字田原	98	28	38	22	7	3
		100.0 %	28.6 %	38.8 %	22.4 %	7.1 %	3.1 %
地域別	大字池尻	93	34	34	11	7	7
		100.0 %	36.6 %	36.6 %	11.8 %	7.5 %	7.5 %

・30歳代以外は、「住み続けたい」「どちらか」といって住み続けたい」という割合が多い。

・特に安真木地区と池尻地区は、「住み続けたい」という割合が他地区より多い。

・「住み続けたい」「どちらかというと住み続けたい」理由として、全地区を通して「子供の頃から住んでいるから」、「家があるから」、「親がいるから」がほとんどとなっている。

・「どちらかというと移り住みたい」主な理由として、

安真木地区では、全体的に「交通の便の悪さ」や「生活不便」が理由としてあげられている。20 歳代～30 歳代をみると、「治安の悪さ」が理由としてあげられている。

川崎地区では、30 歳代～40 歳代では、「イメージの悪さ」があがっており、50 歳代以上では「交通不便」が理由としてあげられている。

田原地区では、全体的に「イメージの悪さ・治安の悪さ」が理由としてあげられている。

池尻地区では、60 歳代以上から「交通不便」が理由としてあげられている。

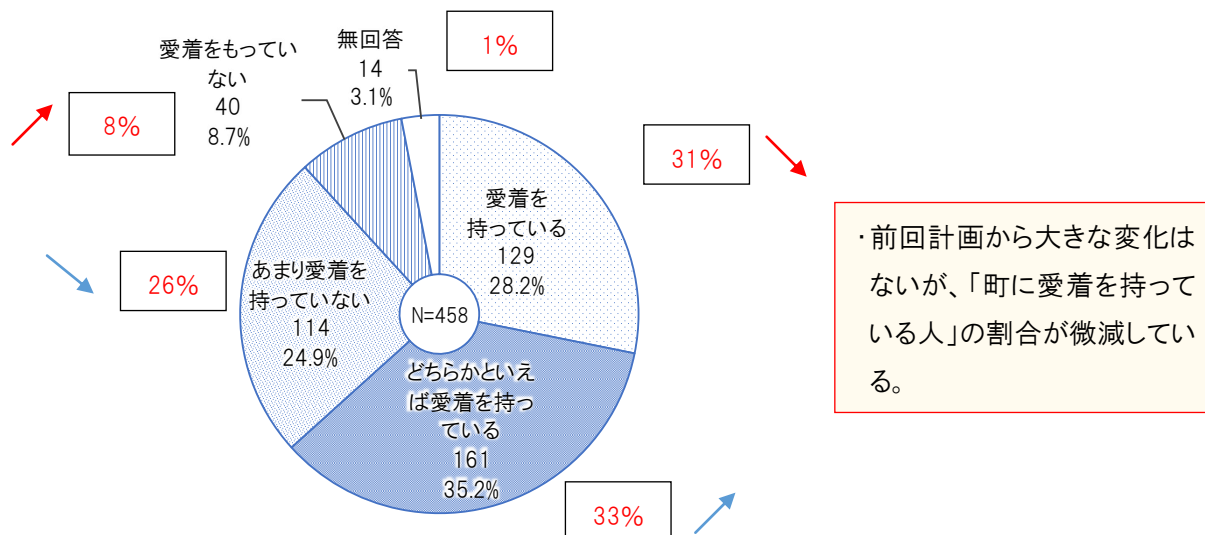
・「移り住みたい」主な理由として、20 歳代～30 歳代では、「子育て支援の不充実」が理由としてあげられている。40 歳代以上からは、「イメージの悪さ」「交通不便」「税金の高さ」が理由として挙げられている。

10 あなたは、川崎町に「自分のまち」という愛着を持っていますか。

「どちらかといえば愛着を持っている」が 35.2%で最も多い。次いで、「愛着を持っている (28.2%)、あまり愛着を持っていない (24.9%)」となっている。

年齢別でみると、「愛着を持っている」と「どちらかといえば愛着を持っている」を加えると 70 歳以上は 7 割を超える人が「愛着をもっている」と回答している。

しかし、20 歳代と 60 歳～64 歳は、愛着をもっていない割合が高くなっている。



■各属性のクロス集計結果

数値： 上段：件数 下段：%		サンプル数	愛着を持っている	どちらかといえば愛着を持っている	あまり愛着を持っていない	愛着をもっていない	無回答
全体		458	129	161	114	40	14
性別	男性	181	57	65	42	11	6
	女性	254	66	89	66	26	7
年齢別	20歳代	24	3	8	11	1	1
	30歳代	28	3	12	7	5	1
	40歳代	46	6	20	12	8	0
	50歳代	56	12	21	18	4	1
	60歳～64歳	47	11	14	18	4	0
	65歳～69歳	70	22	24	13	8	3
	70歳～74歳	61	24	20	14	1	2
	75歳以上	101	42	34	14	6	5
地域別	大字安真木	126	43	43	30	7	3
	大字川崎	112	28	42	26	13	3
	大字田原	98	22	32	29	12	3
	大字池尻	93	29	34	21	5	4

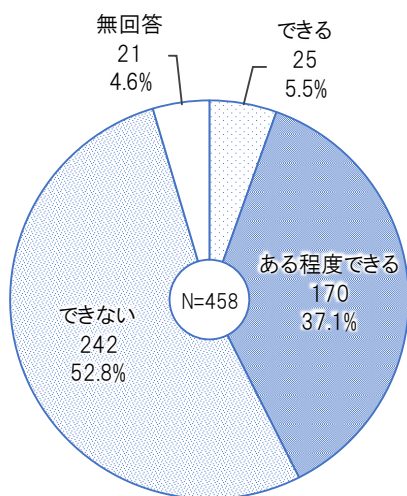
・特に 20 歳代と 60 歳～64 歳代が「愛着を持っていない」人の割合が多くなっている。

・安真木地区と池尻地区は、強い愛着を持つ人の割合が多い。

11 あなたは、川崎町の良いところを町外の人に説明できますか。

「できない」が52.8%で最も多い。次いで、「ある程度できる（37.1%）」となっている。

年齢別でみると、30歳代は「できない」と回答した人が7割を超え、40歳代は「ある程度できる」と回答した人が5割を超えている。



■各属性のクロス集計結果

数値： 上段：件数 下段：%		サンプル数	できる	ある程度できる	できない	無回答
全体		458	25	170	242	21
		100.0 %	5.5 %	37.1 %	52.8 %	4.6 %
性別	男性	181	10	68	94	9
		100.0 %	5.5 %	37.6 %	51.9 %	5.0 %
性別	女性	254	14	91	137	12
		100.0 %	5.5 %	35.8 %	53.9 %	4.7 %
年齢別	20歳代	24	0	10	13	1
		100.0 %	0.0 %	41.7 %	54.2 %	4.2 %
	30歳代	28	2	6	20	0
		100.0 %	7.1 %	21.4 %	71.4 %	0.0 %
	40歳代	46	2	24	20	0
		100.0 %	4.3 %	52.2 %	43.5 %	0.0 %
	50歳代	56	0	24	30	2
		100.0 %	0.0 %	42.9 %	53.6 %	0.0 %
年齢別	60歳～64歳	47	4	11	31	1
		100.0 %	8.5 %	23.4 %	66.0 %	0.0 %
	65歳～69歳	70	5	21	40	4
		100.0 %	7.1 %	30.0 %	57.1 %	5.7 %
地域別	70歳～74歳	61	5	25	28	3
		100.0 %	8.2 %	41.0 %	45.9 %	4.9 %
	75歳以上	101	6	38	47	10
		100.0 %	5.9 %	37.6 %	46.5 %	9.9 %
地域別	大字安真木	126	9	55	56	6
		100.0 %	7.1 %	43.7 %	44.4 %	4.8 %
	大字川崎	112	4	32	72	4
		100.0 %	3.6 %	28.6 %	64.3 %	3.6 %
地域別	大字田原	98	3	31	60	4
		100.0 %	3.1 %	31.6 %	61.2 %	4.1 %
地域別	大字池尻	93	8	38	40	7
		100.0 %	8.6 %	40.9 %	43.0 %	7.5 %

・20歳代・30歳代、50～69歳では、「町の良いところの説明ができない」と回答した人の割合が半数以上となっている。

・安真木地区では、「町の良いところを説明することができる」の割合が他地区より多くなっている。

4. 川崎町のまちづくりについて

12 あなたが、川崎町が町の魅力として発信していくべきだと思うものは何ですか。人物、食べ物、イベント、産業、場所、施設、歴史、物語、方言など何でも自由に上げてください。

町の魅力として発信していくべきだと思うものについて、「イベント」を挙げた人が最も多く、次いで「食べ物」「施設」「歴史」となっている。

イベント		159
イベント		105
パン博など		29
盆踊り等の祭り		10
福祉まつり		3
地域のお祭り		2
パンだけでなく食品の展示会		1
産業祭（ふっとうてん）		1
自然の豊かさを活かしたイベント		1
真崎の祇園祭り		1
体験型イベント		1
獅子舞		1
神興祭		1
神幸		1
地域公民館でのイベント		1
文化的行事・イベント		1
食べ物		146
食べ物		109
農産物		7
米		5
野菜		5
町特産品		3
果物		3
川崎町名物の食べ物		2
りんご		2
物価が安い（食材）		2
名産品の発信		2
から揚げ		1
地元産物を活かした料理		1
田舎ならではの特産物のアピール（天然の山芋＝自然薯）等		1
水		1
トマト		1
みかん		1
施設・場所		138
施設		58
場所		42
ラピュタファーム		8
De 愛		4
保育園・幼稚園が多いこと		3
施設（道路）		2
何か分からないけどここにしかない施設や風景		1
劇場がある		1
公園		1
散歩コース		1
図書館等公共施設		1
多目的会場		1
給食センター		1
買い物が便利（スーパーの多さ）		1
パチンコ屋が多いこと		1
場所（安真木）		1
De 愛からトンネルまでの散歩道		1
ふるさと館 De 愛までの道		1
お店		1

	スーパー川食	1
	なひこ畑の設備の美化	1
	月に一度の食育館	1
	現在ある道の駅を活気あるものに活用する	1
	施設（BG など）	1
	老人のお茶をする所	1
	おおとう街道	1
	フェゼント C.C.	1
歴史		85
	歴史・史実	76
	炭鉱の歴史	7
	史跡	2
産業		67
	産業	63
	若い人が働ける産業	2
	新たな産業	1
	地元の産業	1
人物		55
	人物	42
	人が優しい	3
	町のために活動してくれる人	2
	人情	2
	誠実	1
	思いやり	1
	子ども係の方が心配事があると丁寧に対応してくれる	1
	自治体としての人権意識の高さ	1
	町職員の対応が良い	1
	町民の人柄	1
自然		29
	自然	18
	環境	2
	空気	1
	ほたる	1
	マサ木の道の駅近辺の川棚	1
	安宅の自然	1
	安宅の彼岸花	1
	安真木地区の景観	1
	炭層の種類	1
	川	1
	風景アピール	1
観光		27
	魚楽園	12
	雪舟の庭	5
	観光	3
	ぶどう・柿等果樹園としての PR	1
	りんご園等観光	1
	神社などパワースポット	1
	淡嶋神社	1
	魚楽園を桜街道みたいになりたい	1
	小梅ちゃんの湯	1
	雪舟ロードの活用（蛍見物・マラソン大会など）	1
安心・安全等		9
	災害が少ない	6
	安全	1
	治安の良さ	1
	住みやすさ	1
医療		6
	医療	1

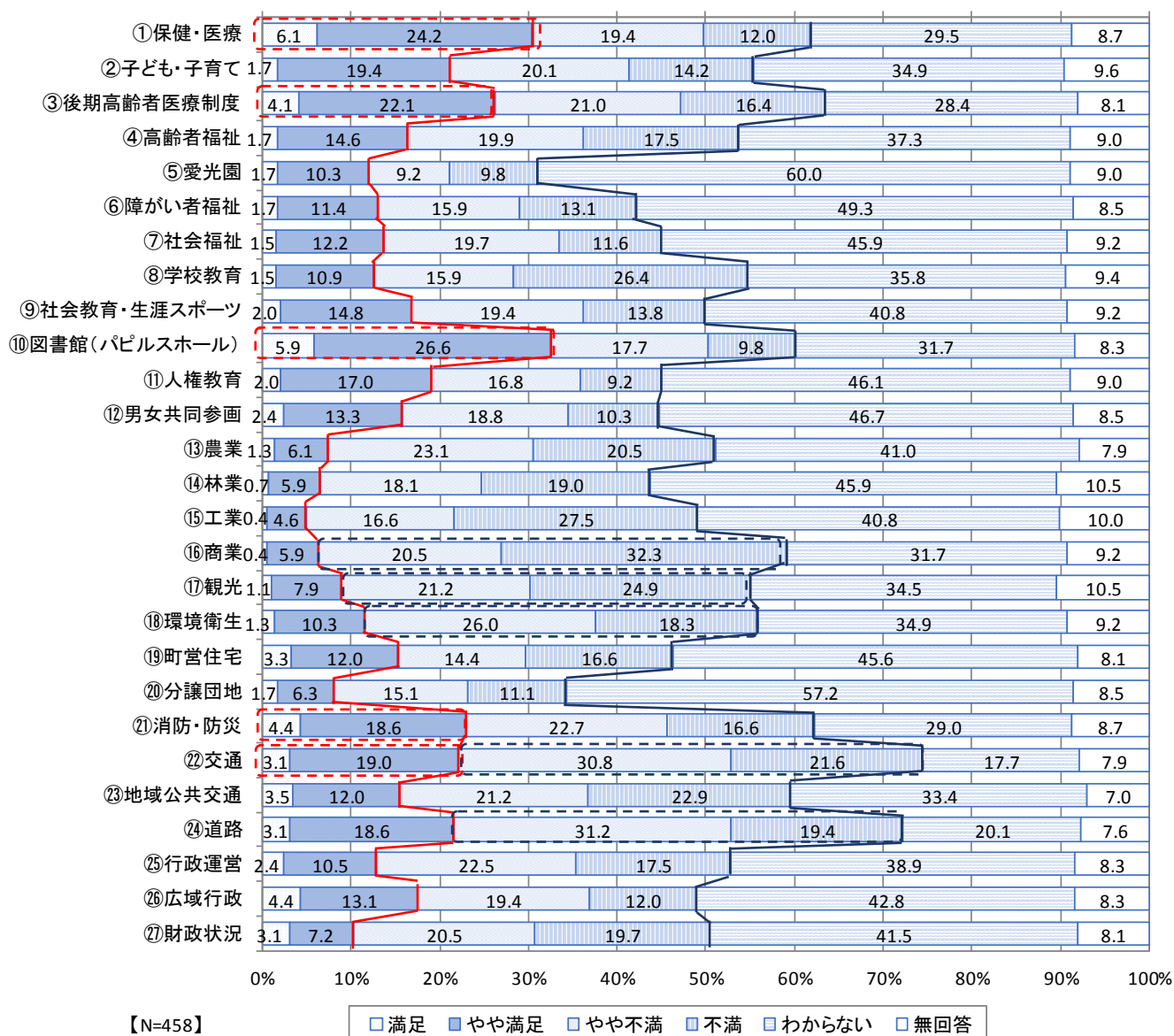
健診が無料	1
病院	1
健康づくり	1
早めの用心のための健康診断	1
町立病院の存続と整備	1
その他	48
方言	14
物語	7
交通	3
小梅ちゃん	3
農業	2
スポーツ	2
子育て	2
教育	1
福祉	1
エコ	1
リサイクル	1
市に隣接	1
福岡・北九州の2つの政令指定都市に近い	1
新しい団地	1
努力	1
絆	1
良いモラル	1
ジョイフルの売上げが日本一ということ	1
剣道	1
静か	1
日田彦山線（JR）	1
他地域への移動が良い（但し車で）	1

13 あなたが川崎町で暮らす中で、以下の1～27の項目の満足度と今後の重要度について、あなたのお考えに近いものを選んでください。

【満足度】

満足度が高い上位5項目は、「⑩図書館（パピルスホール）」「①保健・医療」「③後期高齢者医療制度」
「②①消防・防災」「②②交通」。

不満度が高い上位5項目は、「⑩商業」「②②交通」「②④道路」「②⑦観光」「②⑧環境衛生」。

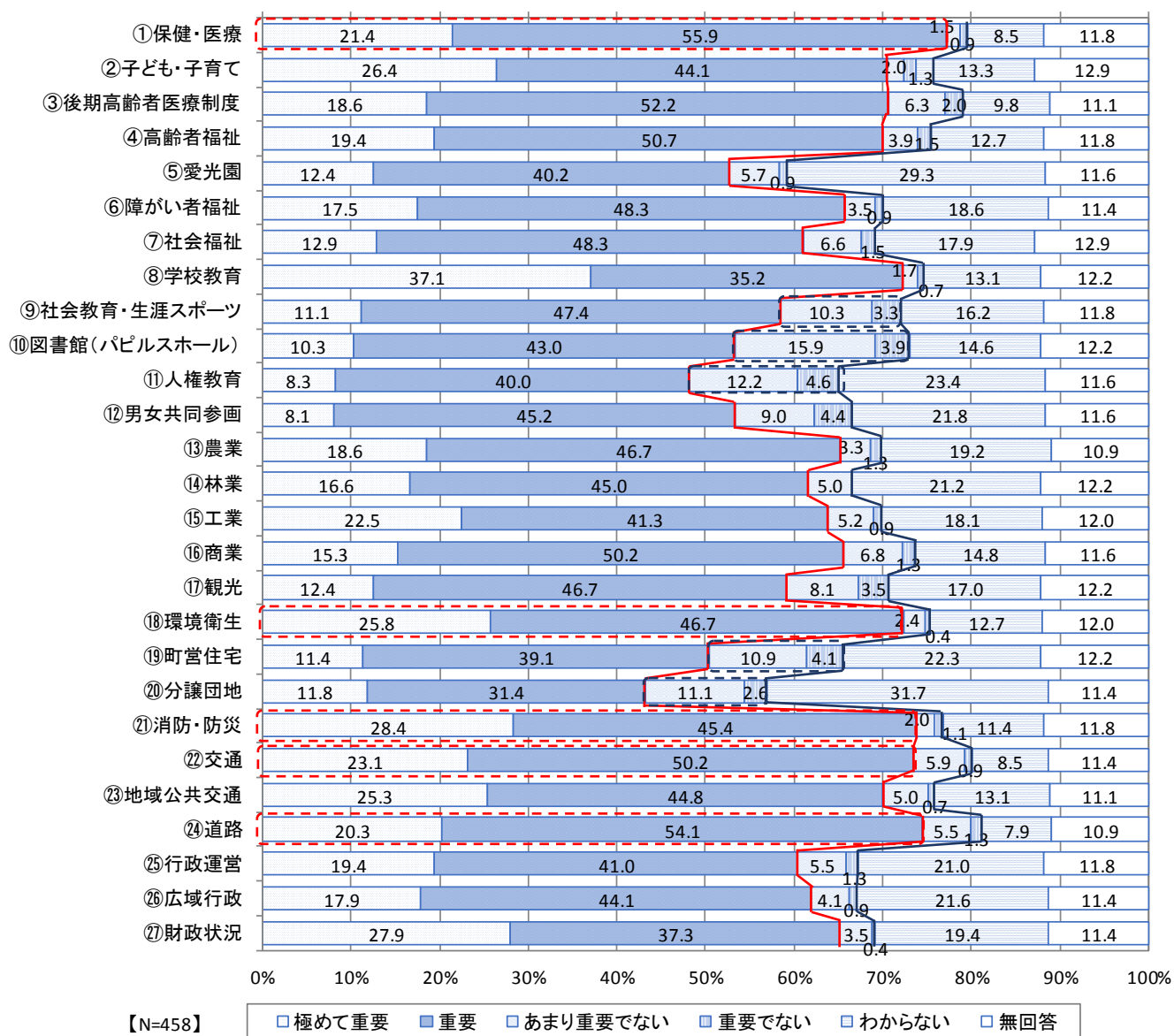


- ・全体的に、「交通」「道路」への関心が高く、「愛光園」「分譲団地」への関心が薄い。
- ・満足度が高いのは「図書館（パピルスホール）」「保健・医療」後期高齢者医療制度「消防・防災」「交通」であり、満足度が低いのは「商業」「交通」「道路」「観光」「環境衛生」である。
- ・「図書館（パピルスホール）」は、川崎地区の満足度が高い。
- ・「地域公共交通」は、安真木地区の満足度が低い。
- ・「農業」「林業」は安真木地区の満足度が低い。

【重要度】

重要度が高い上位 5 項目は、「①保健・医療」「②④道路」「②①消防・防災」「②②交通」「①⑧環境衛生」。

重要度が低い上位 5 項目は、「⑩図書館（パピルスホール）」「⑪人権教育」「①⑨町営住宅」「②⑩分譲団地」「⑨社会教育・生涯スポーツ」。



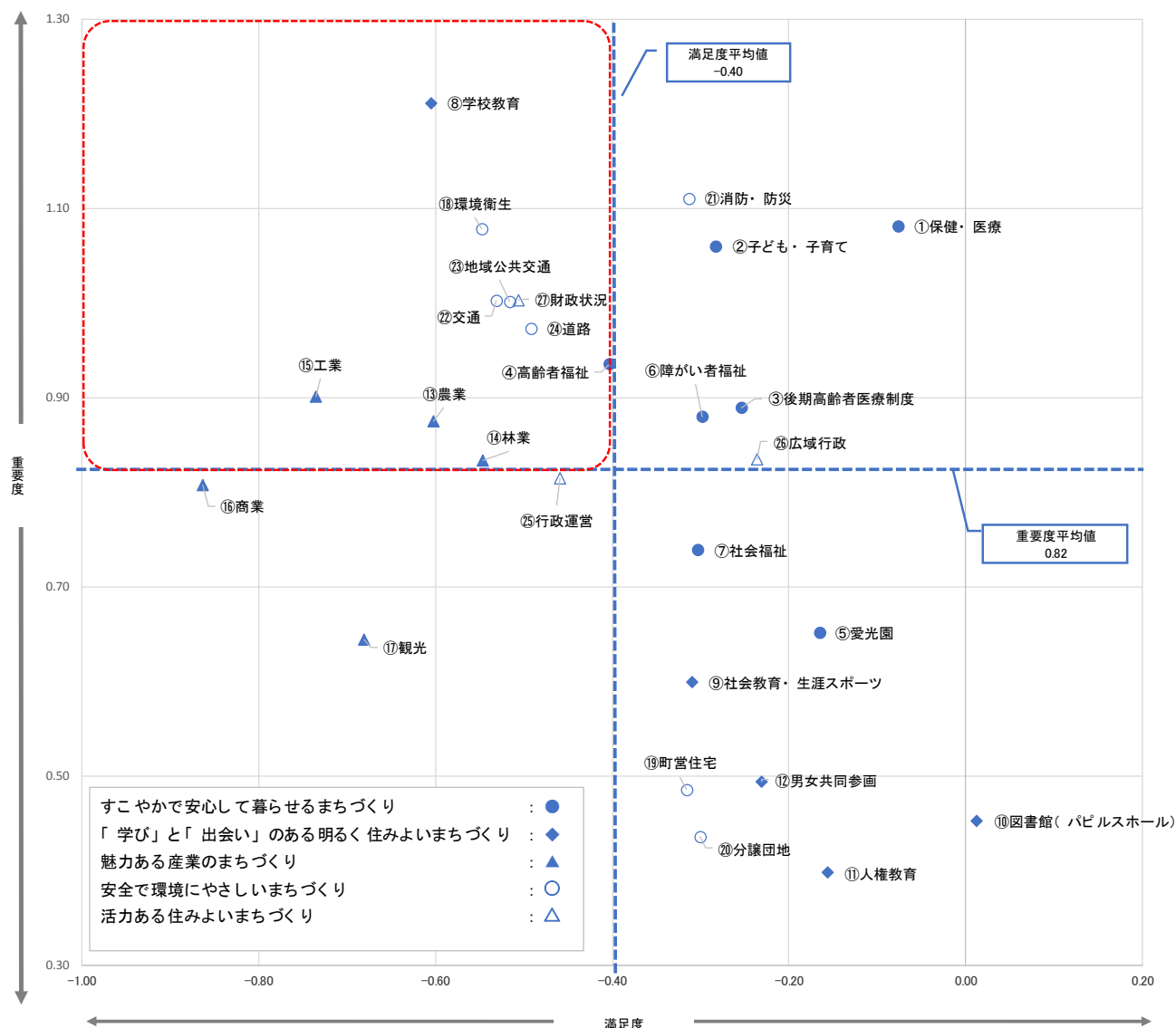
・全体的に、「交通」「道路」「保健医療」「後期高齢者医療制度」への関心が高く、「愛光園」「分譲団地」への関心が薄い。

・重要度が高いのは「保健・医療」「道路」「消防・防災」「交通」「環境衛生」であり、重要度が低いのは「図書館（パピルスホール）」「人権教育」「町営住宅」「分譲団地」「社会教育・生涯スポーツ」である。

【川崎町の取り組みに対する重要度と満足度の相関関係】

町民が、「重要度が高い」と評価している取り組みの上位5つは、「⑧学校教育」「②①消防・防災」「①保健・医療」「①⑧環境衛生」「②子ども・子育て」となっている。

重要度が高いと評価しているにも関わらず、満足度が低い取り組み（※下図の赤枠部分）として、「⑧学校教育」「①⑧環境衛生」「②②交通」「②③地域公共交通」「②⑦財政状況」「②④道路」「④高齢者福祉」「①⑤工業」「①③農業」「①④林業」が挙げられる。



【加重平均の算出方法】

①満足度		②重要度	
満足	: 2点	極めて重要	: 2点
やや満足	: 1点	重要	: 1点
やや不満	: -1点	あまり重要でない	: -1点
不満	: -2点	重要でない	: -2点
わからない	: 0点	わからない	: 0点

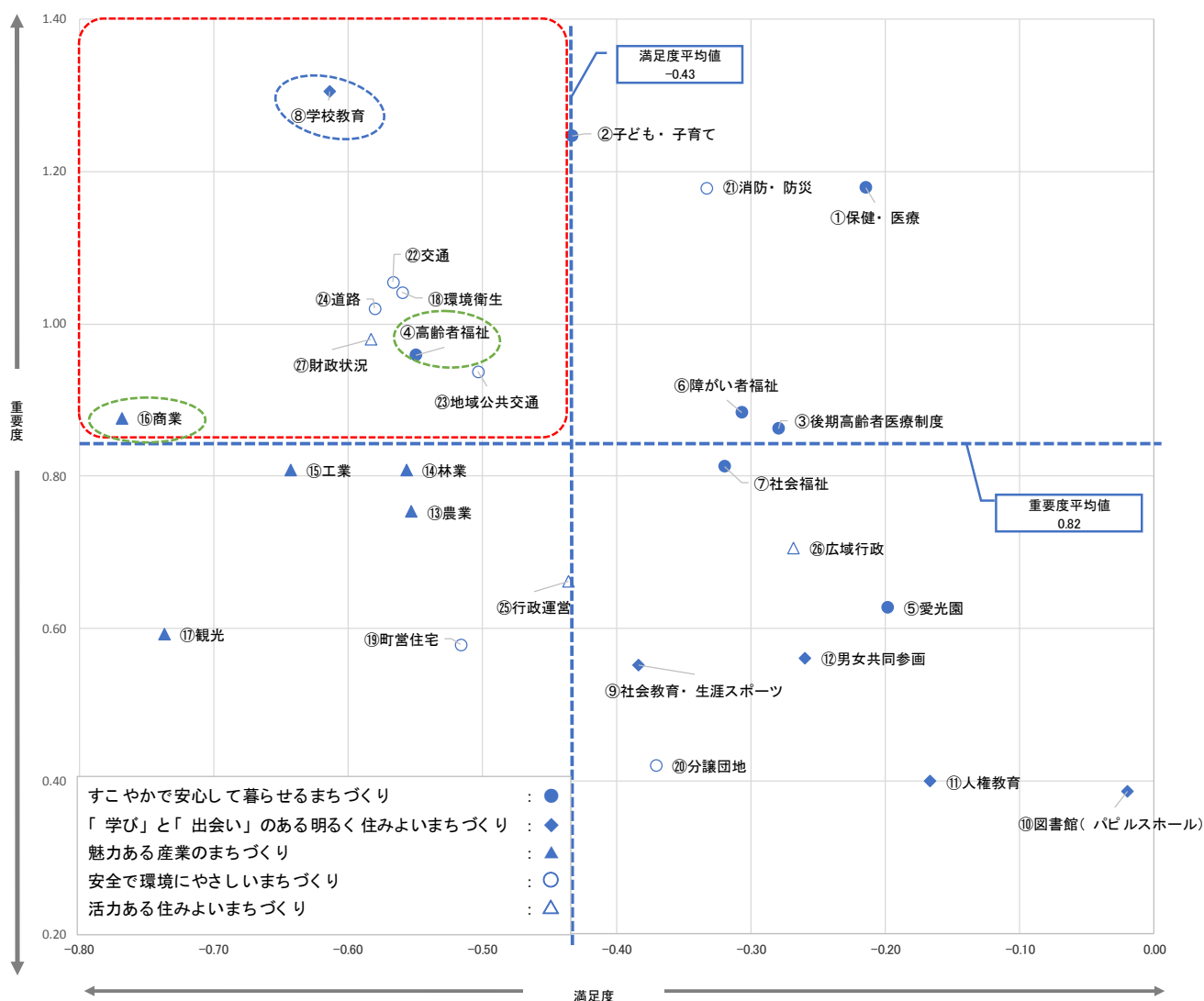
左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値を算出」

- ・全体として、満足度が低く・重要度が最も高い項目として「学校教育」、次いで「環境衛生」があげられている。
- ・自由意見で不満・要望の多く寄せられている「交通」「地域公共交通」についても、満足度が低く・重要度が高い項目としてあげられている。
- ・現総合計画の基本目標ごとに見ると、「魅力ある産業づくり」「安全で環境にやさしいまちづくり」に紐づく基本計画の満足度が低く・重要度が高い項目となっている。

■20～50 歳代（n = 154）

50 歳代以下の町民が、「重要度が高い」と評価している取り組みの上位 5 つは、「⑧学校教育」「②子ども・子育て」「①保健・医療」「②①消防・防災」「②②交通」となっている。

重要度が高いと評価しているにも関わらず、満足度が低い取り組み（※下図の赤枠部分）として、「⑧学校教育」「②②交通」「①⑧環境衛生」「②④道路」「②⑦財政状況」「④④高齢者福祉」「②③地域公共交通」「①⑥商業」が挙げられる。



【加重平均の算出方法】

①満足度		②重要度	
満足	: 2点	極めて重要	: 2点
やや満足	: 1点	重要	: 1点
やや不満	: -1点	あまり重要でない	: -1点
不満	: -2点	重要でない	: -2点
わからない	: 0点	わからない	: 0点

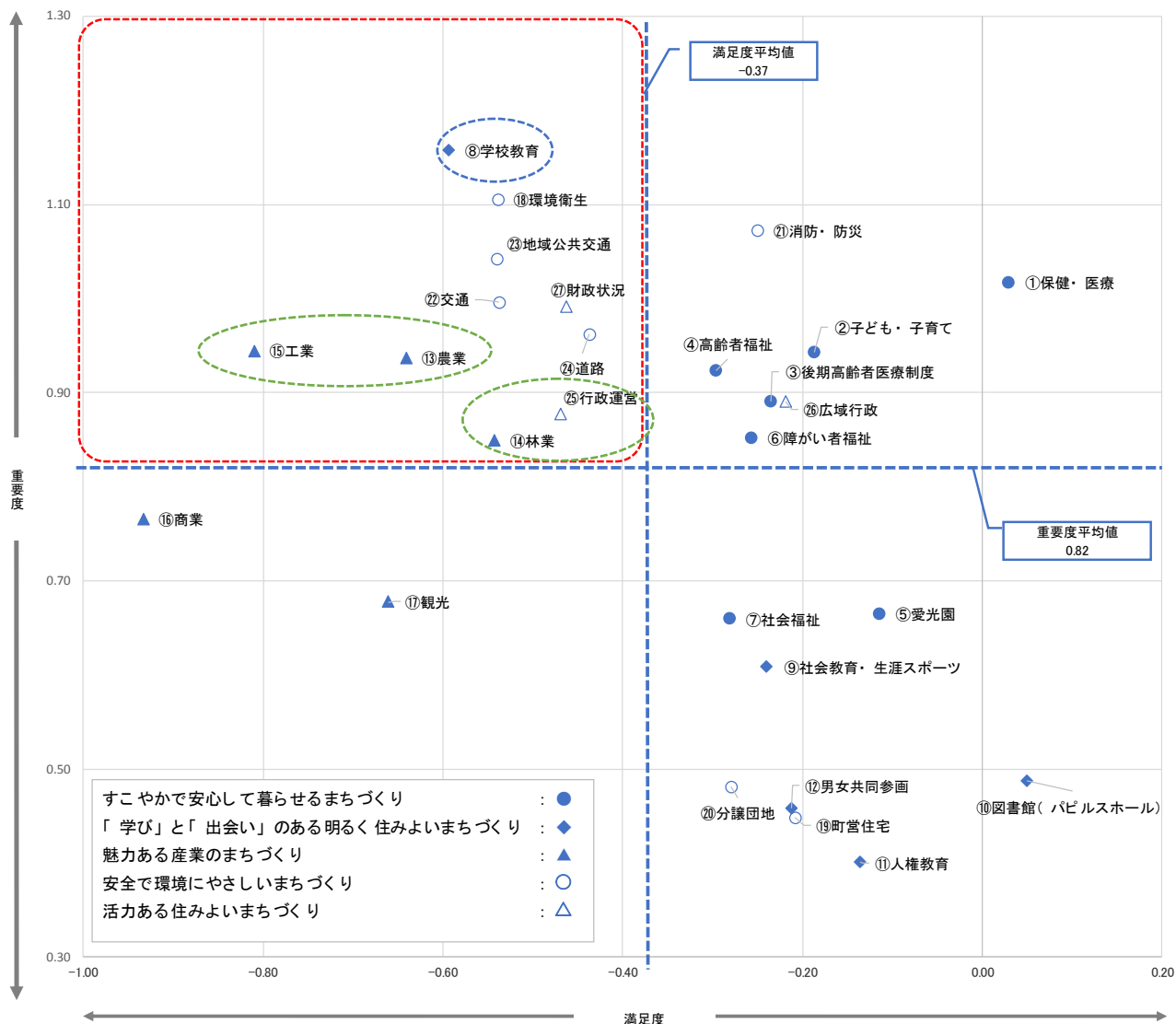
左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値を算出」

- ・20 歳代～50 歳代では、満足度が低く・重要度が最も高い項目として、「学校教育」、次いで「交通」があげられている。
- ・60 歳代以上になく項目として、「商業」「高齢者福祉」が入っている。
- ・現総合計画の基本目標ごとに見ると、「安全で環境にやさしいまちづくり」に紐づく基本計画の満足度が低く・重要度が高い項目となっている。

■ 60 歳代以上（n = 279）

60 歳代以上の町民が、「重要度が高い」と評価している取り組みの上位 5 つは、「⑧学校教育」「⑱環境衛生」「㉑消防・防災」「㉓地域公共交通」「①保健・医療」となっている。

重要度が高いと評価しているにも関わらず、満足度が低い取り組み（※下図の赤枠部分）として、「⑧学校教育」「⑱環境衛生」「㉓地域公共交通」「㉒交通」「㉗財政状況」「㉔道路」「⑮工業」「⑬農業」「㉕行政運営」「⑭林業」が挙げられる。



【加重平均の算出方法】

①満足度

満足	: 2点
やや満足	: 1点
やや不満	: -1点
不満	: -2点
わからない	: 0点

②重要度

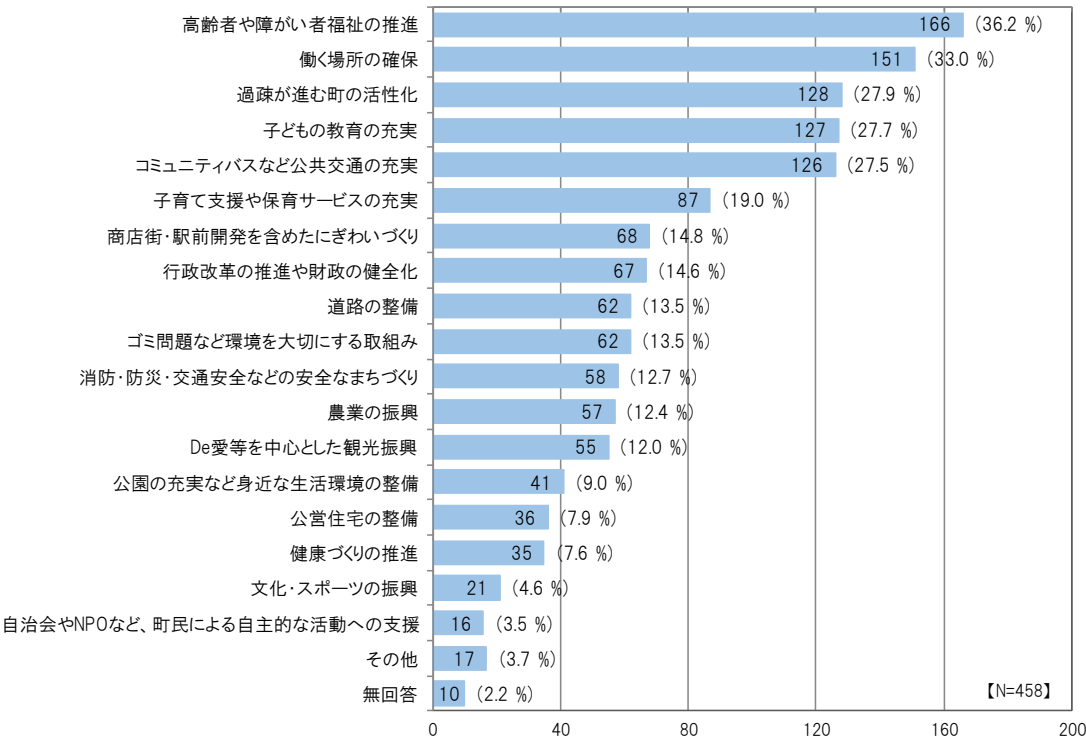
極めて重要	: 2点
重要	: 1点
あまり重要でない	: -1点
重要でない	: -2点
わからない	: 0点

左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値を算出」

- ・60 歳代以上では、満足度が低く・重要度が最も高い項目として「学校教育」、次いで「環境衛生」があげられている。
- ・20 歳～50 歳代にない項目として、「農業」「工業」「林業」「行政運営」が入っている。
- ・現総合計画の基本目標ごとに見ると、「魅力ある産業のまちづくり」「安全で環境にやさしいまちづくり」に紐づく基本計画の満足度が低く・重要度が高い項目となっている。

**14 あなたが、今後約 5 年間の間に町役場がこれまでよりも特に力を入れて欲しいと思う取り組みは何ですか。
(複数回答)**

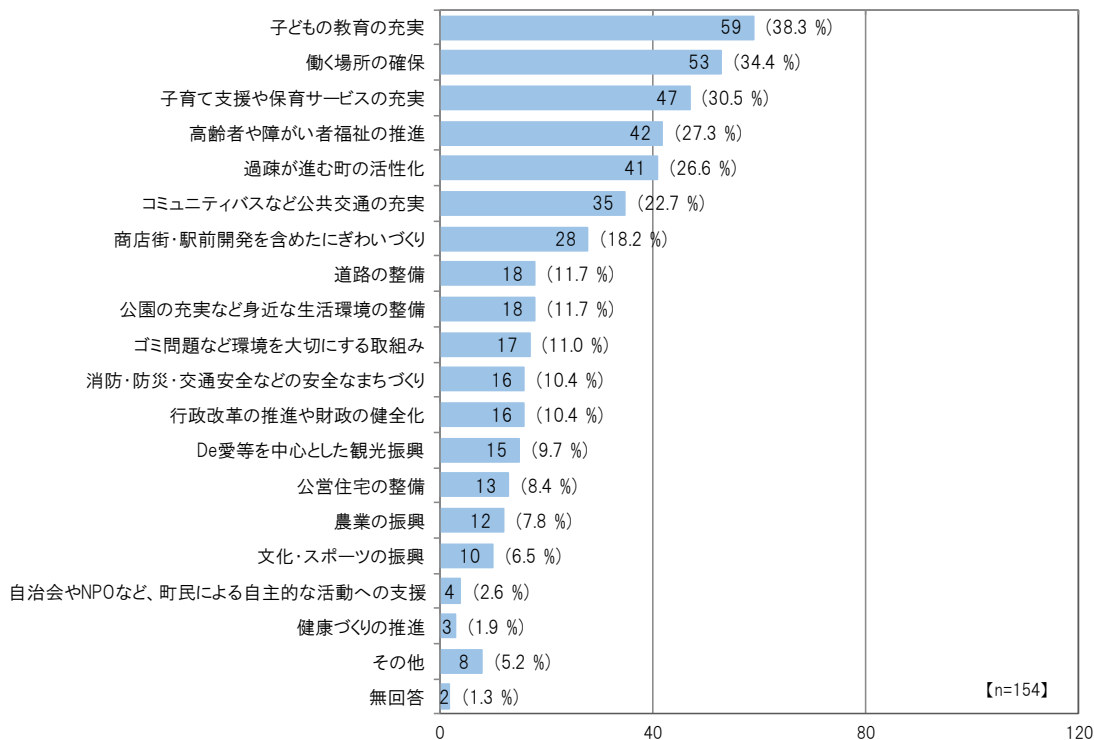
「高齢者や障がい者福祉の推進」が 36.2%で最も多い。次いで、「働く場所の確保 (33.0%)、過疎が進む町の活性化 (27.9%)、子どもの教育の充実 (27.7%)、コミュニティバスなど公共交通の充実 (27.5%)」となっている。



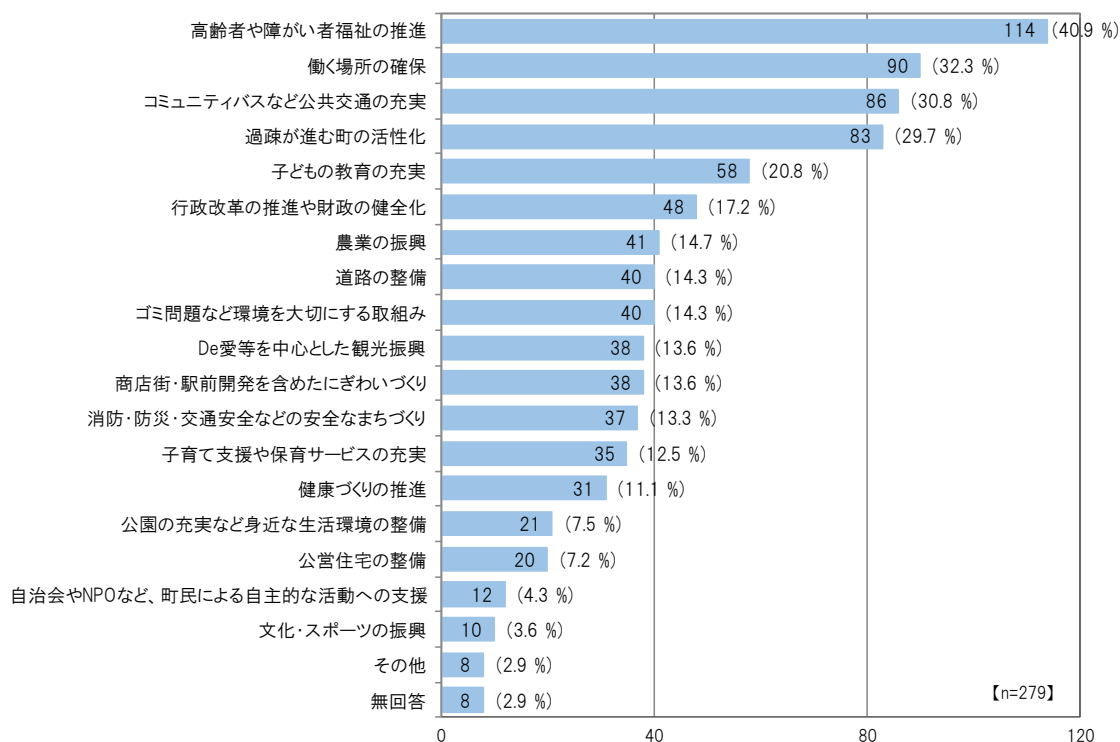
その他の意見
役場からの放送が全く聞こえないので、内容が理解できないので、各家庭に無線がほしい
反社会組織との決別と撲滅
全町民が参加できる催し物
母子家庭への援助
生活保護費等の厳格な見直し
医療（適切に受けられない人のために、もっと広報が制度を整えるべき）
どの部署もお金の使い方を公表すること。一括交付金の使い方は、不透明
道路にはみ出した枝の伐採など
役場の職員の体制
防犯カメラの設置
空き家問題
池
De愛が町中にあると便利
よくわかりません。すべてに頑張って下さっていると思うので
中高年が置き去りになっている。所得の低い人は大変。生活できない。
町内だけに限らないが、車で走っていると草と木が邪魔
・人口が減っているので、若い人を呼び込める行政作りをしてほしい。
・子どもたちの教育保障を充実させてほしい。
・高齢者対策をきちんと考えてほしい。川崎町でも60歳以上は4割以上はいると思います。
※新しい原口町長に町行政を期待していますので、しっかり頑張ってほしいです。
行政改革。必要なものはどんどん取り入れ、不要なものはカットしていく。

年代別でみると、50 歳代以下は、「子どもの教育の充実」が 38.3%で最も多い。次いで、「働く場所の確保 (34.4%)、子育て支援や保育サービスの充実 (30.5%)、高齢者や障がい者福祉の推進 (27.3%)、過疎が進む町の活性化 (26.6%)」となっている。60 歳代以上は、「高齢者や障がい者福祉の推進」が 40.9%で最も多い。次いで、「働く場所の確保 (32.3%)」、「コミュニティバスなど公共交通の充実 (30.8%)、過疎が進む町の活性化 (29.7%)」となっている。

■ 20～50 歳代



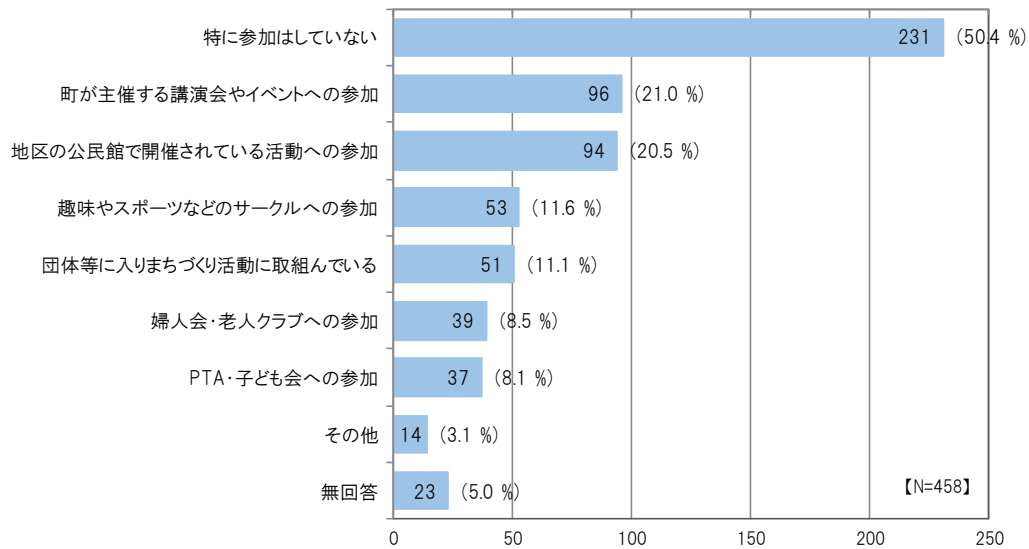
■ 60 歳代以上



15 あなたのまちづくり活動への参加状況を教えてください。（複数回答）

「特に参加はしていない」が 50.4%で最も多い。次いで、「町が主催する講演会やイベントへの参加（21.0%） 地区の公民館で開催されている活動への参加（20.5%） となっている。

年齢別でみると、20 歳代は「特に参加はしていない」と回答した人が 7 割近くになっている。40 歳代は、「PTA・子ども会への参加」と回答した人が 3 割近くになっている。



・回答者の半数の人々は、まちづくり活動に参加していない状況となっている。

その他の意見
清掃
以前は色々参加していましたが、一生完治しない病気になり駄目です
障がい者、高齢者支援
消防団
神社総代、区の評議員
人神祭、農業用水路清掃
防災活動
高齢者教室があれば良い
隣組の会計係
祭り、盆踊りなどの地域行事
村おこしのための都合
強制されているもののみ
アンビシャス、放課後学習
団体には入っていないが、県道のゴミ拾い、草刈り等

■各属性のクロス集計結果

数値： 上段：件数 下段：%	サンプル数	いく団体活動等に入り組まな	や町が主催する講演会	参加地区の公民館で開	のPTA・子ども会へ	へ婦人会・老人クラブ	の趣味やスポーツなどの参加	い特に参加はして	その他	無回答
全体	458	51	96	94	37	39	53	231	14	23
	100.0 %	11.1 %	21.0 %	20.5 %	8.1 %	8.5 %	11.6 %	50.4 %	3.1 %	5.0 %
性別	男性	181	26	31	41	11	14	20	94	5
	100.0 %	14.4 %	17.1 %	22.7 %	6.1 %	7.7 %	11.0 %	51.9 %	2.8 %	6.1 %
	女性	254	21	58	41	24	24	29	129	8
	100.0 %	8.3 %	22.8 %	16.1 %	9.4 %	9.4 %	11.4 %	50.8 %	3.1 %	4.7 %
年齢別	20歳代	24	1	2	1	3	0	0	16	2
	100.0 %	4.2 %	8.3 %	4.2 %	12.5 %	0.0 %	0.0 %	66.7 %	4.2 %	8.3 %
	30歳代	28	1	8	5	7	0	0	11	1
	100.0 %	3.6 %	28.6 %	17.9 %	25.0 %	0.0 %	7.1 %	39.3 %	3.6 %	3.6 %
	40歳代	46	4	13	5	13	0	5	22	2
	100.0 %	8.7 %	28.3 %	10.9 %	28.3 %	0.0 %	10.9 %	47.8 %	4.3 %	4.3 %
	50歳代	56	2	16	17	5	1	22	4	0
	100.0 %	3.6 %	28.6 %	30.4 %	14.3 %	1.8 %	12.5 %	39.3 %	7.1 %	0.0 %
	60歳～64歳	47	8	9	9	2	2	32	2	0
	100.0 %	17.0 %	19.1 %	19.1 %	4.3 %	4.3 %	8.5 %	68.1 %	4.3 %	0.0 %
	65歳～69歳	70	9	11	12	0	1	40	1	3
	100.0 %	12.9 %	15.7 %	17.1 %	0.0 %	1.4 %	11.4 %	57.1 %	1.4 %	4.3 %
	70歳～74歳	61	9	16	16	0	9	35	1	1
	100.0 %	14.8 %	26.2 %	26.2 %	0.0 %	14.8 %	14.8 %	57.4 %	1.6 %	1.6 %
	75歳以上	101	14	14	17	2	25	43	1	14
	100.0 %	13.9 %	13.9 %	16.8 %	2.0 %	24.8 %	14.9 %	42.6 %	1.0 %	13.9 %
地域別	大字安真木	126	15	28	32	15	19	51	7	5
	100.0 %	11.9 %	22.2 %	25.4 %	11.9 %	15.1 %	15.1 %	40.5 %	5.6 %	4.0 %
	大字川崎	112	11	27	19	7	9	61	1	5
	100.0 %	9.8 %	24.1 %	17.0 %	6.3 %	8.0 %	13.4 %	54.5 %	0.0 %	4.5 %
	大字田原	98	10	16	12	6	6	60	3	5
	100.0 %	10.2 %	16.3 %	12.2 %	6.1 %	6.1 %	5.1 %	61.2 %	3.1 %	5.1 %
	大字池尻	93	11	17	19	6	4	46	2	8
	100.0 %	11.8 %	18.3 %	20.4 %	6.5 %	4.3 %	11.8 %	49.5 %	2.2 %	8.6 %

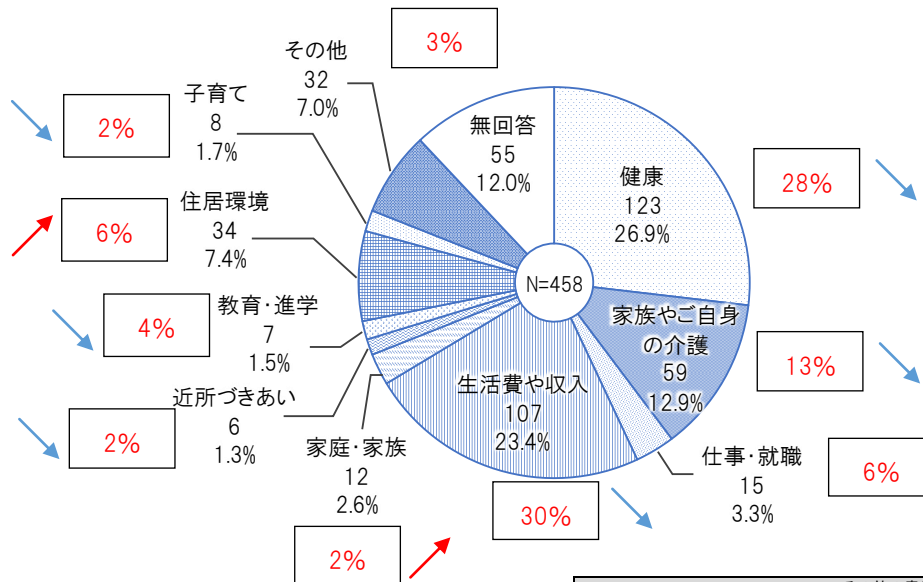
5. 気になっていること、困っていること、不安に思うことについて

16 あなたが生活するうえで、困っていること、不安に思っていることはなんですか。

「健康」が26.9%で最も多い。次いで、「生活費や収入（23.4%）」となっている。

性別でみると、男性は「健康」が30.9%で最も多く、女性は「生活費や収入」が23.6%で最も多い。

年齢別でみると、30歳代は「生活費や収入」が46.4%で全ての年代で最も多い。



・前回計画より、困っていること・不安に思っていることとして「家庭・家族」「住環境」の割合が微増している。

・また、「健康」については約1.1ポイント、「仕事・就職」については約2.7ポイント「生活費や収入」については約6.6ポイント減少している。

その他の意見	件数
特になし	9
役場の職員の体制	1
免許返納後の交通手段がない	3
農業開発のための事業資金	1
年を取り車を運転できなくなってからの自立した生活	1
田舎ゆえの後継不安	1
町営住宅で家賃を何十年も払って住んでいるのに、生活保護家庭は無料で、苦しいながらも家賃を払っている方は、トイレ・風呂など何でも実費はおかしい。	1
税金、保険料、病院治療代（薬代含む）の支払いが大変です。	1
就職ができていない息子がいること。心配。	1
子どもの結婚	1
公共交通	1
交通の不便	1
県営住宅に住んでいるが、家賃が異常に高い	1
近所の騒音（車やバイク含む）	1
人付き合い	1
過疎化	1
買い物、医療が町内には少ない	1

■各属性のクロス集計結果

数値： 上段：件数 下段：%	サンプル数	健康	介護 家族やご自身の	仕事・ 就職	生活 費や収入	家庭・ 家族	近所づ きあい	教育・ 進学	住居 環境	子育て	その他	無回 答
全体	458	123	59	15	107	12	6	7	34	8	32	55
	100.0 %	26.9 %	12.9 %	3.3 %	23.4 %	2.6 %	1.3 %	1.5 %	7.4 %	1.7 %	7.0 %	12.0 %
性別												
男性	181	59	21	6	42	3	1	1	12	2	11	26
	100.0 %	30.9 %	11.6 %	3.3 %	23.2 %	1.7 %	0.6 %	0.6 %	6.6 %	1.1 %	6.1 %	14.4 %
女性	254	59	37	8	60	8	4	6	20	6	19	27
	100.0 %	23.2 %	14.6 %	3.1 %	23.6 %	3.1 %	1.6 %	2.4 %	7.9 %	2.4 %	7.5 %	10.6 %
年齢別												
20歳代	24	0	2	3	6	1	0	0	2	3	2	3
	100.0 %	0.0 %	8.3 %	12.5 %	33.3 %	4.2 %	0.0 %	0.0 %	8.3 %	12.5 %	8.3 %	12.5 %
30歳代	28	1	1	2	13	3	0	2	1	2	1	2
	100.0 %	3.6 %	3.6 %	7.1 %	46.4 %	10.7 %	0.0 %	7.1 %	3.6 %	7.1 %	3.6 %	7.1 %
40歳代	46	3	3	5	10	2	1	2	7	3	6	4
	100.0 %	6.5 %	6.5 %	10.9 %	21.7 %	4.3 %	2.2 %	4.3 %	15.2 %	6.5 %	13.0 %	8.7 %
50歳代	56	12	10	3	8	1	1	3	5	0	6	7
	100.0 %	21.4 %	17.9 %	5.4 %	14.3 %	1.8 %	1.8 %	5.4 %	8.9 %	0.0 %	10.7 %	12.5 %
60歳～64歳	47	11	8	0	14	1	1	0	5	0	3	4
	100.0 %	23.4 %	17.0 %	0.0 %	29.8 %	2.1 %	2.1 %	0.0 %	10.6 %	0.0 %	6.4 %	8.5 %
65歳～69歳	70	28	11	1	18	1	1	0	2	0	3	5
	100.0 %	40.0 %	15.7 %	1.4 %	25.7 %	1.4 %	1.4 %	0.0 %	2.9 %	0.0 %	4.3 %	7.1 %
70歳～74歳	61	19	5	0	13	1	2	0	5	0	3	10
	100.0 %	29.5 %	8.2 %	0.0 %	29.5 %	1.6 %	3.3 %	0.0 %	8.2 %	0.0 %	4.9 %	16.4 %
75歳以上	101	42	18	0	11	2	0	0	5	0	5	18
	100.0 %	41.6 %	17.8 %	0.0 %	10.9 %	2.0 %	0.0 %	0.0 %	5.0 %	0.0 %	5.0 %	17.8 %

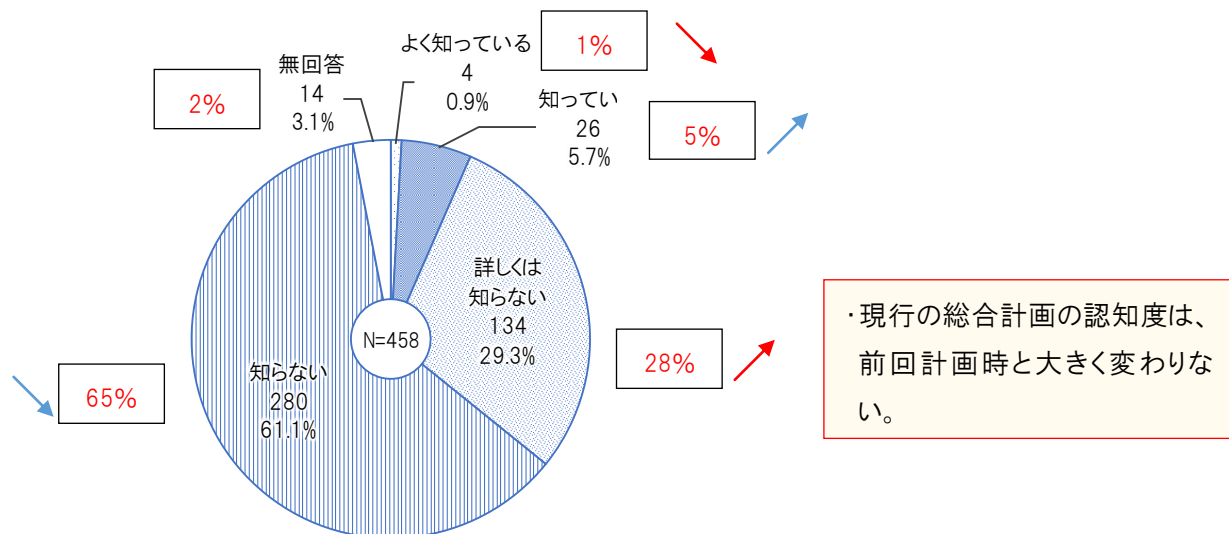
・20歳代～40歳代、60歳～74歳は、「生活費や収入」について、困っている・不安に思っていると感じている人の割合が高くなっている。

・50歳代以上では、「健康」や「家族や自身の介護」について、困っている・不安に思っていると感じている人の割合が高くなっている。

6. 行政運営を対象とした総合計画について

17 あなたは、第5次川崎町総合計画をご存知ですか。

「知らない」が61.1%で最も多い。次いで、「詳しくは知らない（29.3%）」となっている。



18 あなたは、これからのまちづくりの指針となる第6次川崎町総合計画への関心はありますか。

「関心がある」が48.7%で最も多い。次いで、「あまり関心がない（27.9%）」となっている。

